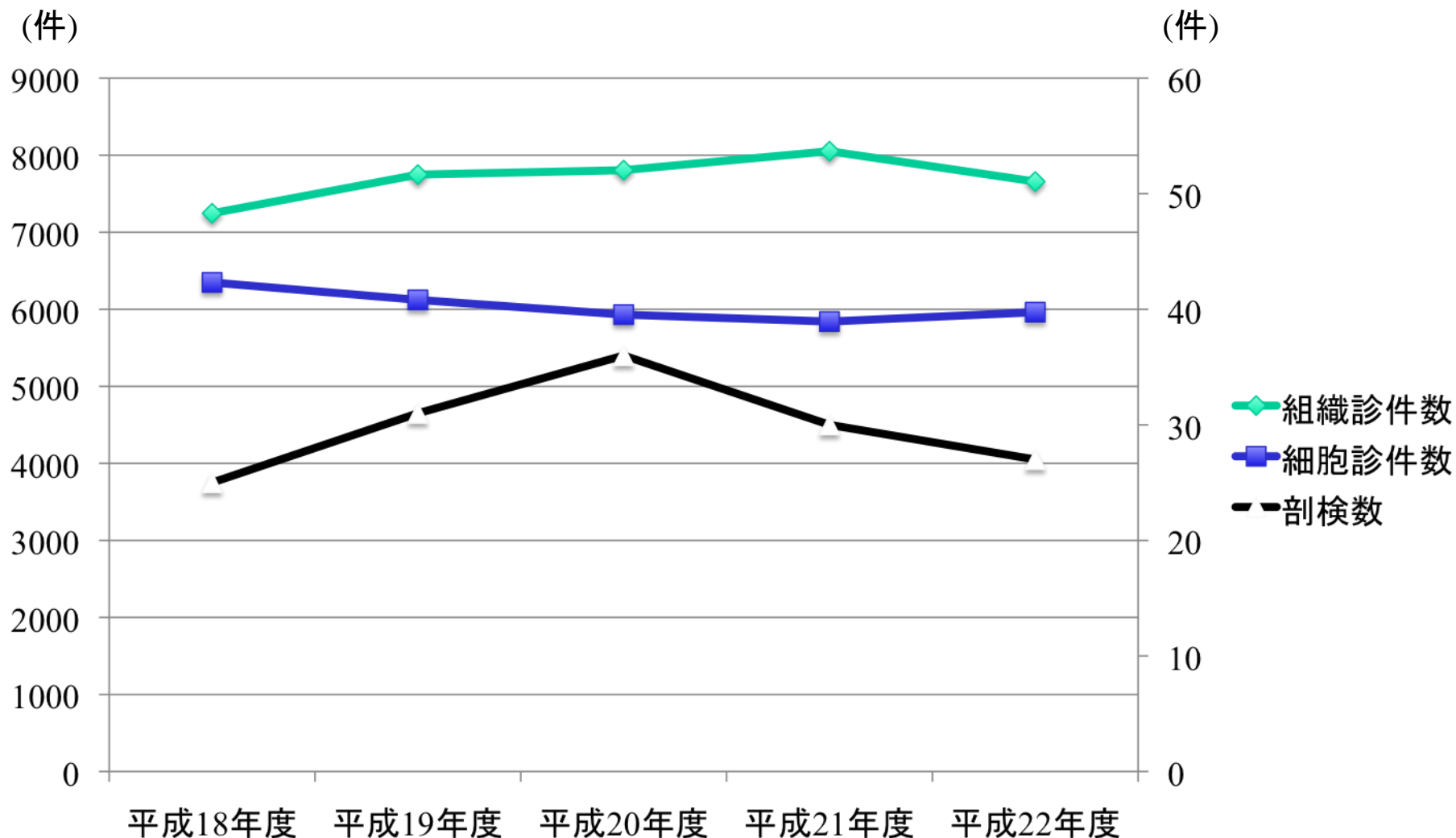


過去5年間の組織診断件数、細胞診断件数、病理解剖数の推移



年間の組織診は7500件から8000件程度で推移しており、うち迅速組織診は約400件です。細胞診は年間6000件程度で、うち迅速細胞診は約500件。病理解剖は年間30件程度で推移しています。

現在、日本病理学会研修認定施設A認定、および日本臨床細胞学会認定教育研修施設として認定されています。

乳癌HER2検査施行症例

	HER2 score 0	1+	2+	3+
浸潤癌 (n=432)	380例 (88.0%)	8例 (1.9%)	15例 (3.5%)	29例 (6.7%)
非浸潤癌 (n=74)	62例 (83.8%)	2例 (2.7%)	3例 (4.1%)	7例 (9.5%)
全体 (n=506)	442例 (87.4%)	10例 (2.0%)	18例 (3.6%)	36例 (7.1%)

最近3年間で506例の乳癌症例に対してHER2免疫染色を行い 3+は約7%、2+を合わせると約11%です。これらの結果は臨床に報告され、分子標的治療を行う際の指標になります。

